

— 広 告 —

KIT  
キャンパス  
レポート  
文・出島二郎  
マーケティングプランナー



林田 脩平 (はやしだ しゅうへい)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
システム設計工学専攻  
博士前期課程1年  
兵庫県 報徳学園高等学校出身

## 文理融合の視点を持って 心理学をものづくりに役立てたい。

白山麓キャンパス近くの集落には国の重要無形文化財に指定されている東二口文弥人形浄瑠璃がある。三五〇年の歴史はあるが後継者不足のため、二〇一六年から金沢工大の学生たちが公演に協力している。林田さんの取材は大阪にある国立文楽劇場の「ふるさとの人形芝居」で上演した直後だった。

「学部三年次にボランティアの募集があつて、文化体験ができるとし、純粹におもしろそうだと思つたんです。離れた世代の方たちと一つの目標に対して一緒に活動するという経験はなかなかないので。大阪では『酒吞童子』の坂田金時役でした。大学に白山麓出身の保存会の方がいて、いろいろ教えてもらいながら。社会に出ても続けられたらいいと思います。」

林田さんは心理学に興味を持ち、その視点をものづくりに活かす研究をしている金沢工大の心理情報学科一本に絞って大学受験した。サーモグラフィや脳波計視線計測装置など理工系ならではの計測装置を用いて人の心を可視化するのだ。しかし高校は文系だったので、かなり苦労したようだ。

「数学では数理工教育研究センターに一〇〇回ほど通い詰めました。プログラミングもオフィスアワーを利用して授業のあとに聞きに行ったり、SA (Student Assistant) という仕組みがあるので学生の方に教えてもらったり。この大学には、みんな教え合うという雰囲気があるから、わりと気軽に相談できます。そうやって基礎はすごく勉強しましたね。」

転倒するのかに興味を持ち、研究室を選んだ。指導する伊丸岡俊秀教授の専門は、認知心理学・認知神経科学である。

「自分で考えてテーマの選定から始めるといふ研究室ですが、面倒見のいい先生です。実験の被験者は二十代の学生と六十五歳以上の各二十人。文弥人形の関係者や集落の人たちが協力してくれています。高齢者の視野の範囲がわかれば、歩行時の注意点を的確に示せると思つて進めています。」

授業以外にも多くの学内プロジェクトに参加して課題をこなしてきた林田さん。インターンシップでもいろんな業種を経験し、心理学をどう実社会に活かせるかを学ぶ忙しい毎日だ。就活はこれからだ。文理融合の視点を持つエンジニアになるにちがいない。

### 金沢工業大学

石川県野々市市扇が丘五七一  
電話番号(〇七六)二四八二二〇〇